

百十九條ノ犯罪成立ス本條ハ已ニ遺棄スル事實ニヨツテ成立ス舊刑法ハ八才未滿ノ幼者又ハ老者疾病者トシ幼者ヲ年齡ニヨリテ區別シタルモ本條ハ自ラ生活スル能ハサル程度ニアルモノトシ年齡ノ區別ヲ爲サ、ルナリ又舊刑法ハ寡聞無人ノ地ニ遺棄シタル時ハ刑量ヲ重ク爲シタルモ之レ犯狀ニ過キサレハ本條ハ之ヲ剛除シタリ

本犯罪成立セハ一年以下ノ懲役ニ處ス

第二百十八條 老者幼者不具者又ハ病者ヲ保護スヘキ責任アル者之ヲ遺棄シ又ハ其生存ニ必要ナル保護ヲ爲サ、ルトキハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

自己又ハ配偶者ノ直系尊屬ニ對シテ犯シタルトキハ六月以上七年以下ノ懲役ニ處ス

本條ハ舊刑法第三百三十八條ヲ修正シタルモノニシテ舊刑法ニ於テ給料ヲ得テ人ノ寄託ヲ受ケ保養スヘキ者ニシテ保護ノ責任ヲ怠リ老者幼者不具者又ハ疾病者ヲ遺棄シタル場合ノミヲ規定シタルモ狹隘ニ失スル嫌ヒアルヲ以テ本條ハ之ヲ改メ保護ス可キ責任アル者トシ其範圍ヲ擴張シタリ

本條ニ於テ老者幼者不具者又ハ病者ハ自身ニ於テ生活シ生命ヲ保護スルニ困難ヲ來ス者

ナルニ係ハラヌ之レヲ保護シ生活セシムル責任ヲ負擔シタル者其責任ヲ怠リ之ヲ遺棄シ生活ニ困難ナラシメタルトキハ本條ノ犯罪成立ス又ハ老者幼者不具者又ハ病者ノ生存ニ必要ナル飲食被服住家醫藥等ノ供給ヲ故ラニ爲サ、ルトキハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス然シナカラ供給スルニ不能ナル爲メ不得止供給ヲ欠キタルモノハ保護ヲ爲サ、ルモアラス能ハサルモノナレハ犯罪成立セス自己又ハ配偶者ノ直系尊屬ヲ遺棄シ又ハ生存ニ必要ナル保護ヲ爲サ、ルトキハ普通人ノ犯シタルトキヨリ犯狀重キヲ以テ六月以上七年以下ノ懲役ニ處ス

第二百十九條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

本條ハ舊刑法第三百三十九條ヲ修正シタルモノニシテ老者幼者不具者又ハ病者ヲ遺棄シ若クハ生存ニ必要ナル保護ヲ爲サ、ル結果死亡シ又ハ傷害ヲ生シタルトキハ傷害ノ罪ニ比較シ其重キ刑ニヨツテ處斷ス

第三十一章 逮捕及ヒ監禁ノ罪

本章ハ舊刑法第三編第一章第九節權ニ人ヲ逮捕監禁スル罪ト題稱シ四條ヨリ成立シタル

第二百十八條

遺棄罪

第二百十九條

遺棄死傷罪

モ本章ハ(橙)ニ人ヲ剛除シ僅カニ二條ヲ以テ組成シ詳細ナル手段方法ハ裁判所ノ判定ニ任シタリ

第二百二十條 不法ニ人ヲ逮捕又ハ監禁シタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス
自己又ハ配偶者ノ直系尊屬ニ對シテ犯シタルトキハ六月以上七年以下ノ懲役ニ處ス

本條ハ舊刑法第三百二十二條及ヒ第三百二十三條ヲ合シテ修正シタル不法逮捕又ハ監禁罪ナリ

舊刑法ハ擅ニ人ヲ逮捕監禁トシタルヲ本法ハ不法ニ人ヲ逮捕又ハ監禁シタル者ト改メタリ意義ニ於テハ同一ニシテ異ナル所ナシ元來刑法上犯罪行為ハ一トシテ不法ニアラサルコトナシ然ルニ特ニ不法ノ形容詞ヲ用イタルハ一ノ注意文ニ過キス深刻ノ意味アルニアラサルナリ逮捕監禁モ殆ト同一意義ニ近シ人ヲ逮捕スルトハ人ノ身軀ニ直接腕力ヲ加エ居所ヲ轉ノ自由ヲ約束スルモノナリ監禁ハ人ノ身軀ニ直接腕力ヲ加フルニアラス一定ノ居所ヲ區畫シ其内ニ幽閉シテ外部ノ出入ヲ禁止スル間接ノ腕力ニヨツテ自由ヲ拘束スルモノナリ舊刑法ニ於テハ監禁日數十日ヲ過クル毎ニ一等ヲ加フ其他毆打拷責飲食屏去等

苛酷ノ行為ヲ列舉シタルモ之レ犯狀ニ過キサレハ本條ハ之ヲ剛除ス本條ノ犯罪ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

自己又ハ配偶者ノ直系尊屬ニ對シテ不法ノ逮捕又ハ監禁罪ヲ犯シタルトキハ普通人ノ犯シタルヨリ身分上犯狀重キヲ以テ六月以上七年以下ノ懲役ニ處ス

第二百二十一條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

本法ハ舊刑法第三百二十四條及ヒ第三百三十五條ヲ合シテ修正シタルモノニシテ舊刑法ハ擅ニ人ヲ監禁シ水火震災ノ際其監禁ヲ解クコトヲ怠テ死傷ニ致シタルモノハ又前條ノ例ニ同シトシ死傷ノ原因ヲ記載シタルモ本條ハ單ニ前條ニ記載シタル不法ノ逮捕又ハ監禁ノ原因ニ人ヲ死亡セシメ又ハ傷害ニ至ラシメタルトキハ傷害ノ罪ニ比較シ重キ一方ノ刑ヲ以テ處斷ス

第三十二章 脅迫ノ罪

總論

本章ハ舊刑法第三編第三章第七節ヲ修正シタル者ニシテ其重モナル要點ヲ列舉セハ左ノ如シ

第二百二十一條 逮捕遺棄死傷罪

一 入ノ生命住居身軀財産ニ傷害スルコトヲ豫告シ又ハ兇器ヲ所持シテ脅迫シタルトキハ各別ニ刑ヲ規定スルモ繁雜ニ涉リ疑義ヲ生スルノミナラス人ノ自由名譽ニ對シテ脅迫シタル明文ナキハ適用ノ不備ヲ感スル嫌アルヲ以テ本條ヘ刑期ヲ廣博ニシ第二項ヲ以テ規定セリ

二 舊刑法ハ脅迫罪ヲ親告罪トナシタルモ公益ヲ害スルコト大ナルノミナラス却テ被害者ニ於テ不當ノ利益ヲ請求スルノ弊アルヲ以テ之ヲ刪除シタリ

第二百二十二條 生命、身體自由名譽又ハ財産ニ對シ害ヲ加フ可キコトヲ以テ人ヲ脅迫シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

親族ノ生命身軀自由名譽又ハ財産ニ對シ害ヲ加フ可キコトヲ以テ人ヲ脅迫シタル者亦同シ

本條ハ舊刑法第三百二十六條ヲ修正シタルモノニシテ脅迫罪ナリ

脅迫トハ人ノ生命身軀自由名譽又ハ財産ニ對シ危害ヲ加フ可キコトヲ豫告シ人ヲシテ恐怖セシムルニ因テ犯罪成立ス脅迫ノ目的ニ因テ或ハ他ノ犯罪成立シ強盜強姦罪トナル故ニ本條ノ脅迫罪ハ他ノ犯罪ノ成立セサル場合ノミ成立ス強盜罪成立シタルトキハ脅迫ハ強

盜罪ノ一ノ手段ニシテ強盜罪及ヒ脅迫 其ニ成立スルニハアラサルナリ脅迫罪ノ成立ハ脅迫ノ行為終リタル時ニアラス被脅迫者ノ恐怖心惹起セサルトキハ脅迫ハ不能ニ屬シ犯罪成立セサルナリ本條ノ脅迫罪ハ未遂ノ行為ヲ處罰セサルヲ以テ未タ被脅迫者ノ恐怖心ヲ惹起セサル以前ニ中止シ若クハ他ノ障礙アリタルトキハ無罪トス脅迫ノ手段ハ言語文字形樣等ヲ以テ爲スモ制限ナキニヨリ恐怖心ヲ惹起セシメタルトキハ成立ス舊刑法ハ兇器ヲ以テ脅迫シタルトキハ重刑ヲ科シタリ本條ハ其手段ヲ擇バズ脅迫ノ目的ハ生命身軀自由名譽又ハ財産ノ五種ト制限シ此ノ以外ノ物ニ害ヲ加フ可キ豫告ヲ爲シ恐怖心ヲ惹起スルモ脅迫罪成立セス例ニハ知己友人ニ害ヲ加フト云フカ如シ親族ノ生命身軀ノ自由名譽又ハ財産ニ害ヲ加フト豫告シタルトキハ本條第二項ニ於テ脅迫罪成立ス親族トハ民法親族編第七百二十五條一 六等親内ノ血族ニ配遇者三 三等親内ノ姻族ヲ總稱ス詳細ハ親族編ヲ参照スヘシ脅迫罪成立セハ一年以下一月以上ノ懲役五百圓以下二十圓以上ノ罰金ニ處ス

第二百二十三條 生命、身體、自由名譽又ハ財産ニ對シ害ヲ加フ可キコトヲ以テ脅迫シ又ハ暴行ヲ用ヒ人ヲシテ義務ナキコトヲ行ハシメ又ハ行フ可キ權利ヲ妨害

第二百二十二條

脅迫罪

第二百二十三條

脅迫罪

三八六

シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス
 親族ノ生命身軀自由又ハ財産ニ對シ害ヲ加フ可キコトヲ以テ脅迫シ人ヲシテ義
 務ナキ事ヲ行ハシメ又ハ行フ可キ權利ヲ妨害シタル者亦同シ
 前二項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

本條ハ舊刑法ニ闕如シタル規定ニシテ事實上屢々生スル問題ナルヲ以テ特ニ本法ニ創設
 シタルモノナリ

本條ハ生命身軀自由名譽又ハ財産ニ對シ危害ヲ加フ可キヲ豫告シ又ハ腕力ヲ以テ人ヲシ
 テ義務ナキ事ヲ行ハシメ又ハ行フ可キ權利ヲ妨害シタルトハ或者ヲ雇入レントスルヲ妨
 害シテ雇入レシメヌ又ハ雇入レテ承諾セサルヲ脅迫暴行ヲ以テ雇入レセシムルカ如キ脅
 迫暴行ノ結果ヲ生シタルトキハ前條ノ單順ナル脅迫ヨリ犯狀重シトシ三年以下一月以上
 ノ懲役ニ處ス但シ脅迫ヲ被脅迫者ノ親族ノ生命身軀自由名譽又ハ財産ニ加フコトヲ豫告
 シタルトキハ直接ニ被脅迫者ニ危害ヲ及ホス豫告ニアラサルモ尙ホ同一ノ刑ヲ適用スニ
 キモノナリ本條ノ犯罪ハ其犯狀比較的重大ナルヲ以テ未遂ノ狀態中ハ未遂罪ヲ以テ之ヲ
 論ス

第十三章 畧取及ヒ誘拐ノ罪

本章ハ舊刑法第三編第 章第十節幼者ヲ略取誘拐スル罪ヲ修正シタルモノナリ舊刑法ニ
 於テハ幼者ヲ略取誘拐シタル場合ノミナリシモ本章ハ幼者ノミニアラス成年者ニツキテ
 モ之ヲ保護スル必要アルヲ以テ單ニ略取及ヒ誘拐ノ罪ト爲シタリ

第二百二十四條 未成年者ヲ畧取又ハ誘拐シタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處
 ス

本條ハ舊刑法第三百四十一條及ヒ第三百四十二條ヲ合シテ修正セル幼者略取誘拐罪ナリ
 舊刑法ニ於テハ二十才未滿十二才以上十二才未滿ト區別シ刑量ヲ異ニ爲シタルモ本條ハ
 幼者ノ年齡ヲ以テ區別ヲ設ケス單ニ未成年ト爲シタリ未成年者トハ年齡二十才未滿ノ男
 女ヲ云フ滿二十才ニ達スルトキハ未成年者ニハアラサルナリ畧取トハ暴行脅迫ヲ以テ未
 成年ノ監督者タル父母後見人等ノ監督中ヨリ脱セシメ自己ノ管理中ノ範圍ニ置ラ云フ誘
 拐ハ偽計又ハ欺罔ヲ以テ監督者及ヒ未成年者ニ形式ノ承諾ヲ與エシメ監督者ノ監督範圍
 ヲ脱セシメ自己ノ管理内ニ置ク狀態ナリ本條ノ略取及ヒ誘拐罪ハ單順ノ目的ニシテ未成
 年者ヲシテ猥褻結婚又ハ營業交付ノ目的ニアラサルヲ要ス如斯目的ヲ以テ略取誘拐シタ

ルトキハ次條ノ犯罪トス單順ナル略取及ヒ誘拐ノ目的トハ例ニハ未成年者ヲ養育セシメ
ルノ如キヲ云フ本條ノ犯罪ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

第二百二十五條 營利猥褻又ハ結婚ノ目的ヲ以テ人ヲ略取又ハ誘拐シタル者ハ一年
以上十年以下ノ懲役ニ處ス

本條ハ本法ノ創設ニシテ舊刑法ニ闕如シタルハ利猥褻又ハ結婚ノ目的ヲ以テ人ヲ略取又
ハ誘拐シタル罪ノ規定ナリ

本條ハ營利猥褻又ハ結婚ノ目的ヲ以テ人ヲ略取又ハ誘拐シタル罪ニシテ此目的以外ニ於
テ人ヲ略取又ハ誘拐スルト雖モ本條ノ犯罪ニハアラサルナリト云フハ成年者未成年者
男女ヲ區別スルノ必要ナシ然シナカラ成年者ニ於テハ本人ノ承諾アルトキハ略取及ヒ誘
拐ニアラサルナリ刑法草案ニ於テハ本條ノ人ヲ成年ノミニシテ未成年者ハ包含セサルモ
ノト爲セリ但シ前條ニ於テ未成年者ヲ略取及ヒ誘拐シタル場合ヲ規定シタリト雖モ略取
及ヒ誘拐ノ目的ヲ定メヌ本條ハ特ニ目的ヲ三種類ヲ制限の規定シ前條ノ未成年者略取及
ヒ誘拐トハ異ナルナリ然ルニ本條ノ人ニハ未成年者ヲ含有セスト爲スハ草案者ノ理由ト
雖モ賛成スルニ躊躇スルナリ聊カ出シテ讀者ノ判定ニ任ス

本條ノ犯罪ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第二百二十六條 帝國外ニ移送スル目的ヲ以テ人ヲ略取又ハ誘拐シタル者ハ二年以
上十五年以下ノ有期懲役ニ處ス

帝國外ニ移送スル目的ヲ以テ人ヲ賣買シ又ハ被誘者若クハ被賣者ヲ帝國外ニ移
送シタル者亦同シ

本條ハ舊刑法第三百四十五條ヲ修正シタルモノニシテ帝國外ニ移送スル目的ヲ以テ略取
又ハ誘拐賣買又ハ移送シタル罪ナリ本條ニ於テ帝國外ニ移送スル目的トハ外國ニ必スシ
モ移送スルノミヲ云フニアラス帝國領土領海以外ニ於テ主權ノ區域外ニ移送スルモノト
ス故ニ海賊船ニ移送スル如キモ帝國外ト稱スルヲ得ヘシ帝國外ニ移送スル希望ヲ有シ男
女老幼ヲ問ハス人ヲ暴行脅迫又ハ偽計詐欺ヲ以テ略取誘拐ノ行爲者ハ前條ノ害ヨリ重大
ナルヲ以テ二年以上十五年以下ノ有期懲役ニ處ス

帝國外ニ移送スル希望ヲ以テ父母後見人保佐人其他監督ノ任ニアル者ニシテ男女老幼ヲ
區別セズ有價的合意ノ目的物ト爲シ又ハ略取誘拐ニ因リタル者若クハ有價的合意ノ目的

物トナリタル者ヲ帝國外ニ移送シタル者モ亦二年以上十五年以下ノ有期懲役ニ處ス

第二百二十七條 前三條ノ罪ヲ犯シタル者ヲ助スル目的ヲ以テ被畧取者又ハ被賣者ヲ收受若クハ藏匿シ又ハ隱避セシメタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス營利又ハ猥褻ノ目的ヲ以テ被略取者又ハ被賣者ヲ收受シタル者ハ六月以上七年以下ノ懲役ニ處ス

本條ハ舊刑法第三百四十三條ヲ修正シタルモノニシテ拐取者ヲ幫助スル罪ナリ前三條ニ規定シタル略取誘拐罪國外移送罪ヲ犯シタル者ヲ其情ヲ知テ故ラニ犯罪ヲ容易ナラシムル希望ヲ以テ被拐取者又ハ被賣者ヲ收領シ若クハ發見ヲ防ケル爲メ藏匿シ又ハ發見ヲ防ケル爲メ他所ニ隱避セシメタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス本條ノ幫助ハ第六十二條ノ幫助罪トハ其性質ニ於テ異ナルナリ第六十二條ノ幫助ハ正犯實行以テ若クハ實行中ニ犯罪ヲ容易ナラシメタルモノナレトモ本條ノ犯罪ハ略取又ハ誘拐若クハ國外移送罪或立シタル以後犯罪ノ目的タリシ者ヲ收受若クハ藏匿又ハ隱避セシメ發見ヲ妨ケル爲メ幫助シタルヲ以テ總則ノ幫助罪ニアラサルナリ以上第一項ノ犯罪ハ三月以上

五年以下ノ懲役ニ處ス營利又ハ猥褻ノ目的ヲ以テ略取セラレタル者又ハ賣渡サレタル者ヲ其情ヲ知テ收受シタル者ハ六月以上七年以下ノ懲役ニ處ス

第二百二十八條 本章ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

本章ニ規定シタル犯罪ノ目的物ハ人ノ名譽身體自由ニ關スル重大ナル犯罪ニシテ公益ヲ害スルロト亦尠ナシト爲サス之ヲ未遂ノ狀態中ニ防止スル爲メ未遂中ト雖モ尙ホ之ヲ處罰ス

第二百二十九條 第二百二十六條ノ罪ヲ幫助スル目的ヲ以テ犯シタル第二百二十七條第一項ノ罪及ヒ此等ノ罪ノ未遂罪ヲ除ク外本章ノ罪ハ營利ノ目的ニ出テサル場合ニ限り告訴ヲ待テ之ヲ論ス但被拐取者又ハ被賣者犯人ト婚姻ヲ爲シタルトキハ婚姻ノ無効又ハ取消ノ裁判確定ノ後ニ非ラサレハ告訴ノ効ナシ

本條ハ舊刑法第三百四十五條ヲ修正シタルモノナリ舊刑法ニ於テ幼者ノ略取誘拐罪ハ總テ親告罪ト爲シタルモ本條ニ於テハ營利ノ目的ヲ以テ人ヲ略取又ハ誘拐シ若クハ營利又ハ猥褻ノ目的ヲ以テ收受シタル片ハ告訴ヲ待タズ其罪ヲ論ズ但シ未遂罪及ヒ營利猥褻ノ

第二百二十七條 幫助誘拐者罰 第二百二十八條 略取誘拐未遂罪 三九三

目的以外ノ犯罪ハ總テ親告罪トス營利ノ目的ヲ以テ收受シタル犯罪ハ公益ヲ害スルコト
重大ナルハ被害者 利益ヲ顧ミ告訴ヲ待ツノ必要ナキヲ以テナリ

第二十六章 名譽ニ對スル罪

本章ハ舊刑法第三編第一章第十二節誹毀ノ罪及ヒ第四百二十六條第十二號罵詈訕弄スル
罪ヲ合シテ修正シ誹毀罪中身分職業ニ因テ人ノ秘密ヲ漏洩シタル罪ハ本編第十三章秘密
ヲ侵ス罪中ニ規定シ已ニ論シタリ而シテ名譽ニ對スル罪ト題稱シタルハ犯罪ノ目的ヲ以
テ直ニ題名稱ト爲シタルモノナリ

第二百三十條 公然事ヲ摘示シ人ノ名譽ヲ毀損シタル者ハ其事實ノ有無ヲ問ハス

一年以下ノ懲役若クハ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

死者ノ名譽ヲ毀損シタル者ハ誣告ニ出ツルニ非サレハ之ヲ罰セス

本條ハ舊刑法第三編五十八條及ヒ第三百五十九條ヲ合シテ修正シタル名譽毀損罪ナリ舊
刑法ニ於テ名譽毀損ノ方法ヲ列舉シ刑期ヲ區別シタリト雖モ本條ハ刑量ヲ廣博ニシ自由
ニ適用シ得ルヲ以テ名譽毀損 方法ヲ列舉セス概括的規定ト爲シタリ

人ノ名譽ハ人ノ社會上ニ於ケル信用ニ基ク尊敬ナリ其地位ニ產職業ニヨリテ異ナリ信用
ハ特別人ニ對スル信用ニアラス社會一般ニ對スルモノナレハ特別人ニ於テ名譽信用ヲ毀
損シタルト認ムル事實ヲ公然摘發スト雖モ普通社會ニ於テ被害者ノ地位財產職業ヨリ批
評シテ未タ名譽毀損 認メサルトキハ犯罪成立セズ舊刑法及ヒ刑法草案ニ於テハ惡事醜
行アリトシテ公然之ヲ摘示シ人ノ名譽ヲ毀損シタル者トシ名譽ヲ惡事醜行ノミニ制限ス
ルハ狹隘ニ失スル嫌ヒアリ惡事ニモアラス醜行ニモアラス正當ノ業務ト雖モ現存ノ社會
ニ於ケル地位財產職業ノ狀況ヨリ或人ハ不名譽トシ又社會一般ニ於テモ不名譽タルヲ認
ムルコトアリ例エハ銀行頭取ニシテ高利貸ヲ兼業スルカ如シ其事實ヲ公衆ニ向テ摘發シ
タル結果名譽ヲ汚辱シ信用ヲ侵害シタルトキハ摘發シタル事實ノ有無ニ係ハラズ犯罪成
立ス然シナカラ新聞紙及ヒ出版物ニ於テ私行ニ涉ル事實ノ外ハ公益ノ爲メ摘發シタルト
キハ犯罪構成セス死者ニ對シテ名譽ヲ毀損スル事實カ認同ニ出ツルニ非サレハ犯罪構成
セス之レ歴史家ヲシテ後世ニ事實ヲ傳エシメシカ爲メナリ本條ノ犯罪成立セハ一年以下
ノ懲役若クハ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百三十一條 事實ヲ摘示セスト雖モ公然人ヲ侮辱シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處

本條ハ舊刑法第四百二十六條ヲ修正シタル侮辱罪ナリ
公然人ヲ侮辱スルトハ本人ノ面前又ハ公衆ニ向テ公然罵詈訾弄等被害者ノ信用ヲ毀損シ
名譽ヲ汚辱シタル行爲ハ言語形様文書圖書等ヲ以テ爲スモ手段ニ於テハ制限スル所ナシ
前條誹毀罪ト異ナルハ或事實ヲ摘示セサルニアリ事實ヲ摘示シ公然人ノ名譽ヲ毀損スル
トキハ誹毀罪トシ侮辱罪ニハアラサルナリ本條ノ犯罪ハ拘留又ハ科料ニ處ス

第二百三十二條 本章ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

本章ノ犯罪ハ經微ノ犯罪ニシテ殊ニ人ノ名譽ニ關スルヲ以テ被害者ニ於テ誹毀侮辱ヲ受
ケタルコトヲ公然法庭ニ發表スルハ却テ苦痛ヲ感スルニ至ルコトアルヲ以テ被害者ノ告
訴アルニアラサレハ其罪ヲ論セサルナリ

第三十五章 信用及ヒ業務ニ對スル罪

本章ハ舊刑法第二編第八章ヲ修正シタルモノニシテ舊刑法ニ於テハ商業及ヒ農工ノ業ヲ
妨害シタルトキノ規定ナリシモ之レノ分類タルニ過キサルヲ以テ本章ハ廣ク信用及ヒ
業務ニ對スル罪トナシタリ

**第二百三十三條 虛偽ノ風説ヲ流布シ又ハ偽計ヲ用ヒ人ノ信用ヲ毀損シ者ハ其
務ヲ妨害シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス**

本條ハ舊刑法第二百六十七條乃至第二百七十二條ノ六ヶ條ヲ合シテ修正シタル信用毀損
罪若クハ業務妨害罪ナリ本罪ハ虛空ノ不實 吹聴シ又ハ人ヲ眩惑セシムル虛偽ノ謀計ヲ
以テ人ノ社會上ニ於ケル地位資格ニ危害ヲ加エル行爲ナリ例エハ某銀行ハ破産スルノ憂
アリ速ニ預金ヲ請求スヘシト公衆ニ向テ云フカ如キハ之レ虛偽ノ風説ヲ流布シタル行爲
ナリ某銀行ノ門戶等ニ財産整理ノ爲メ休業スト虛偽ノ揭示ヲ爲スハ偽計ナリ偽計風説ヲ
爲ス犯罪ノ目的カ單ニ人ノ社會上ニ於ケル信用ヲ毀損スルトキハ第一項ニ於テ論シ業務
ヲ妨害スルヲ目的トナシタルトキハ第二項ノ犯罪トシ共ニ三年以下ノ懲役又ハ千圓以下
ノ罰金ニ處ス

第二百三十四條 威力ヲ用イ人ノ業務ヲ妨害シタル者亦前條ノ例ニ同シ

本條ハ舊刑法第二百六十七條乃至第二百七十二條ヲ合シテ修正シタル業務妨害罪ナリ
本條ニ於テ威力トハ人ノ意思ヲ強制スヘキ不正ノ行爲ニシテ脅迫恐喝權威等ヲ總稱シ暴
行ハ人ノ意思ヲ強制スルニアラス身ハ財產ニ對シ危害ヲ及ホス犯罪行爲ナレハ本條ニ包

第二百三十三條

信用及ヒ業務ニ對スル罪

第二百三十四條

業務妨害罪

合セス本條ハ單ニ意思ニ及ホシタル結果人ノ業務ヲ妨害スル行爲ナリ人ノ業務ト云フハ農工商ノ業務ヲ區別セサルモノトス本條ノ犯罪成立セハ前條ノ刑ヲ適用シ三年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十六章 窃盜及ヒ強盜ノ罪

總論

本章ハ舊刑法第三編第二章第一節窃盜ノ罪第二節強盜ノ罪ヲ合シテ窃盜及ヒ強盜ノ罪ト修正シタリ其修正ノ主要ナル點ヲ摘示セハ左ノ如シ

一 舊刑法ハ窃盜及ヒ強盜ヲ各別ニ規定シタリ草案ハ窃盜強盜及ヒ詐欺取財若クハ委寄財物ニ關スル罪ハ區別シ次章ニ規定シタリ窃盜強盜及ヒ詐欺取財ハ共ニ財物ヲ奪取スル點ハ同一ナリト雖モ詐欺ハ形式的承諾ニ基キ他人ノ財物ヲ自己ノ占有内ニ移轉スルモノト雖モ窃盜強盜ハ形式的承諾ナク自己ノ占有内ニ移轉スル罪質上ノ差異アルヨリ章ヲ分テルモノナリ

二 窃盜及ヒ強盜ハ他人ノ物ヲ奪取シ自己ノ占有内ニ移轉スル方法手段ニ於テ異ナリ

窃盜ハ脅迫ヲ要スルモ強盜ハ之ヲ要セス單ニ方法手段ニ於テ異ナルノミナレハ本法ハ之ヲ一章ト爲シタリ

三 舊刑法ハ窃盜ニ關スル規定ヲ十二條トシ強盜ニ關スル規定ヲ七條ト爲シ窃盜ノ方法手段ヲ細別シタリト雖モ本法ハ之ヲ改廢シ窃盜ニ關スル規定ヲ一條トシ抽象的ニ規定セリ其方法手段ニ關スル犯狀ハ裁判官ノ判定ニ任シタリ強盜ニ關スル規定ヲ六條トシ殆ト舊刑法ト同一ナリ窃盜及ヒ強盜ニ共通スル規定ヲ四條トナシタリ

四 舊刑法ハ自己ノ所有地ト雖モ典物トシテ他人ニ交付シ又ハ官署ノ命令ニ因リ他人ノ看守シタル時ニ關スル規定窃盜ニツキテハ存在スルモ強盜ニツキテハ更ニ規定ナク尤モ舊刑法ノ窃盜ノ目的物ハ人ノ所有物ノミトシ強盜ノ目的物ハ財物トナシタル爲メ強盜ノ章ニ規定ナカリシ仍ホ疑義タルヲ免カレサルヲ以テ本章ハ共通ノ條ニ於テ之ヲ規定セリ

五 舊刑法ニ於テハ強盜罪ト雖モ豫備ノ行爲ハ不問ニ附シタリ本章ハ強盜豫備罪ヲ處罰スルモノト爲セリ

第二百二十五條 他人ノ財物ヲ窃取シタル者ハ窃盜ノ罪ト爲シ十年以下ノ懲役ニ處

第二百三十五條 窃盜罪

本條ハ舊刑法第三百六十六條乃至第三百七十條第三百七十二條乃至第三百七十四條ノ八條ヲ合シテ修正シタル竊盜罪ナリ

本條ニ竊盜トハ暴行脅迫又ハ欺罔スルコトナク他人ノ占有中ノ財物ヲ權利ナク自己又ハ第三者ノ占有ニ移ス行爲ヲ云フ竊盜ト云フ文字ハ隱當ヲ欠クノ嫌ヒナリ竊カニ他人ノ財物ヲ自己ノ占有ニ移スト云フトキヲ竊盜ト爲サハ公然他人ノ財物ヲ奪取スル者アリ之ヲ防竊盜ニアラスト云ハサル可カラス例エハ彼岸ニアル他人ノ財物ヲ奪取スル者アリ之ヲ防止セントスルモ中間ニ河水アルヲ以テ其財物ニ近カツク能ハス又自轉車若クハ馬ヲ奪取シ直チニ之レニ乘シテ乘ルトキハ竊ニ取ルニアラス公然取リタルモノナレトモ尙ホ竊盜ト云ハサル可カラス然ラハ竊ニ取ルト云フハ意義充分明瞭ナラサルナリ故ニ竊盜ハ定義ニ拘泥スルヲ得サルモノトス竊盜ノ定義ヲ分拆セハ左ノ如シ

一 竊盜ハ暴行脅迫若クハ欺罔スルコトナキヲ要ス

強盜詐欺取財ト竊盜トヲ區別スル要點ハ不法ニ腕力若クハ他人ノ生命身軀自由若クハ財物ヲ奪取スルヲ與エルトト豫告シ恐怖心ヲ惹起セシメ他人ノ占有物ヲ奪取スルトキハ

竊盜ニアラス強盜ノリ若シハ人ヲ欺罔シ其誤解ニ乘シテ財物ヲ自己ノ占有内ニ移ストキハ詐欺取財ト竊盜ハ之レ等ノ手段方法ニヨラス人ノ占有物ヲ自己ノ占有ニ移ス行爲トス

二 他人ノ占有中ノ財物タルトヲ要ス

他人ト云フハ自己以外ノ人タルト雖モ親族間ノ竊盜ハ第二百四十四條ノ起定ニヨリ其刑ヲ免除ス之レ又竊盜罪ノ性質ヲ有スル行爲ト云フヘシ占有中トハ他人ノ管理内ニアル財物ヲ奪取スルモノトス財物ト云フハ有形ノ財産ナリ財産トハ金錢ニ評價シ得ヘキ物ヲ云フ故ニ價額ヲ有セサル物ハ財産ニアラサルナリ有形ノ財産ハ無形ノ財産ニ對スル語ナリ即チ人ノ五管ニ感觸ヲ與エ移轉シ得ヘキモノタルヲ要ス空氣日光ハ五管ノ一部ニハ感觸ヲ加エルモ形跡ヲ有セザレハ物ニアラス土地家屋ハ形跡ヲ有シ五管ニ感觸ヲ與エルモ之ヲ移轉セシムルヲ得ザレハ竊盜ノ目的物タルヲ得ス尤モ土地家屋ノ不動産ハ竊盜ノ目的物タルヲ得ヘキヤ否ヤニ付キ積極消極ノ論アリト雖モ余ハ消極說ヲ是認ス債權ハ竊盜ノ目的物タルヲ得ス何トナレハ權利ハ無形ニシテ物タル性質ヲ有セザレハナリ著作權商標權ハ竊盜ノ目的物タルヲ得ヘキガ著作權商標權ノ如キハ權利ニシ

ヲ物ニアラサレハ刑法上ノ物ト爲スヲ得サルモノトス

三 權利ナキヲ要ス

法律ノ保護スヘキ權利ニヨツテ他人ノ占有物ヲ自己ノ占有中ニ移ス行爲ハ窃盜ニアラ
ス法律ノ規定ニ違背シ仍ホ故ラニ移轉行爲ヲ爲スヲ要ス

四 自己又ハ第三者ノ占有ニ移ス行爲ヲ要ス

自己又ハ第三者ノ占有ニ移ス行爲ヲ以テ窃盜犯ノ既遂未遂犯ヲ區別ス窃盜ノ目的物ニ
身軀ノ接觸ヲ以テ窃盜既遂トシ或ハ目的物ヲ握手シタルトキヲ既遂犯ト論シ或ハ目的
物ヲ遷移セシメタル行爲ヲ既遂犯トス窃盜ハ占有ノ侵害ナリ占有ヲ失フハ管理ノ範圍
ヲ脱出セシメタルモノナレハ未ダ管理ノ範圍中ハ目的物ニ接觸握手シタルノミヲ以テ
窃盜ノ既遂トスルハ窃盜ノ性質ヲ管理權ノ侵害ニアラサルモノトセサル可カラズ然シ
ナカラ窃盜ノ性質ハ管理權ヲ侵害シタルコト疑フ點ナシ之レニヨツテ窃盜ノ既遂ハ目
的物ヲ自己ノ占有ニ移轉セシメ他人ノ管理ヲ喪失シタルトキヲ既遂犯トシ未ダ移轉シ
終ラサルヲ未遂トスヘシ

以上ノ條件具備シタルトキハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第二百三十六條 暴行又ハ脅迫ヲ以テ他人ノ財物ヲ強取シタル者ハ強盜ノ罪ト爲シ
五年以上ノ有期懲役ニ處ス

前項ノ方法ヲ以テ財産上不法ノ利益ヲ得又ハ他人ヲシテ之ヲ得セシタル者亦同シ
本條ハ舊刑法第三百七十八條ヲ修正シタル強盜罪ナリ

強盜罪ハ他人ノ占有中ノ財物ヲ暴行脅迫ノ手段ニヨリ自己ノ占有ニ移轉セシムル行爲ナ
リ然ラハ強盜罪ハ窃盜罪ノ成立要素ニ暴行脅迫ヲ加エタルモノヲ強盜罪ト爲スカ如キモ
強盜ハ窃盜罪ノ成立要素ニ暴行脅迫ヲ加エタルモノニアラス窃盜罪ノ成立要素ニ暴行脅
迫ヲ乘ケタルモノトス乘ケルハ成立要素ニ暴行脅迫ノ混合セシムル義ナリ加エルハ窃盜
罪ヲ基礎トシテ暴行脅迫ヲ加人セシムル義ナリ此解釋ヲ異ニスルニヨツテ未遂犯豫備犯
ノ區別ヲ異ニス窃盜犯ニ加エタルモノトスルトキハ強盜犯成立セサルモ仍ホ窃盜犯成立
スヘシ殊ニ強盜犯豫備ハ窃盜ノ未遂ト云ハサル可カラス乘ケタルトスルトキハ窃盜犯ト
強盜犯ハ全然別種ノ犯罪ナレハ強盜犯ノ豫備ハ窃盜犯ノ未遂ニアラサルナリ
強盜犯ハ生命身軀自由財産ニ對シテ腕力ヲ以テ危害ヲ加エ若クハ之レ等ノ物ニ危害ヲ加
フルコトヲ豫告シ身軀力ノ對抗力ヲ失ヘシメ若クハ精神上ノ恐怖心ヲ惹起シ對抗力ヲ失フ

第二百三十六條 強盜罪 第二百三十七條 強盜豫備罪

タル時ニ乘シ他人ノ財物ヲ強制的ニ奪取シ自己ノ占有中ニ移轉セシムル行為ナリ自己ノ財物ト雖モ他人ノ占有ニ屬シタルトキ強取ヲ爲シタルトキハ仍ホ強盜罪トス暴行脅迫ニヨリテ他人ノ財物ヲ強取シタルニアラス不法ニ財産上ノ利益ヲ得タルトキモ仍ホ強盜罪トス例エハ自己ニ對スル貸借證書ヲ暴行脅迫ヲ以テ破毀セシメ債務ヲ免カレントスルカ如シ又他人ヲシテ不法ノ利益ヲ得セシメタルトキモ強盜罪トス例エハ他人ニ對シテ第三者カ有スル貸借證書ヲ暴行脅迫ニヨリテ破棄セシメ不法ニ財産上ノ利益ヲ得セシメル行為ナリ強盜罪ハ五年以上十五年以下ノ懲役ニ處ス

第二百三十七條 強盜ノ目的ヲ以テ其豫備ヲ爲シタル者ハ二年以下ノ懲役ニ處ス

本條ハ舊刑法ニ闕如シタル強盜豫備罪ノ規定ナリ
強盜ノ豫備トハ強盜ヲナス目的ヲ以テ兇器其他ノ物ヲ準備シ未タ着手若クハ實行ニ至ラサル状態中ニアルトキハ豫備犯トシテ二年以下ノ懲役ニ處ス

第二百三十八條 竊盜財物ヲ得テ其取還ヲ拒キ又ハ逮捕ヲ免レ若クハ罪跡ヲ埋滅スル爲メ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタルトキハ強盜ヲ以テ論ス

本條ハ舊刑法第二百八十二條ヲ修正シタルモ ニシテ準強盜罪ナリ
本條ハ竊盜ヲ基礎トシテ暴行脅迫ヲ加エタ 強盜罪ナリ故ニ強盜罪成立セサルモ竊盜罪ハ成立ス竊盜罪成立セサルトキハ強盜罪モ亦成立セサルナリ

本條ハ竊盜罪未遂罪若クハ既遂成立シタル以後竊盜ニヨリテ得タル財物ヲ取還サントスル者ニ對シ又ハ財物ヲ取還サントスルニアラヌ犯人ヲ逮捕セントスル者ニ對シ若クハ竊盜ヲ犯シタル以後發見セラレルヲ恐レ發見ニ必要ナル 犯罪ヲ消滅セシメン爲メ暴行脅迫ヲ加エタルトキハ強盜罪ヲ以テ論シ五年以上十五年以下ノ懲役ニ處ス

第二百三十九條 人ヲ昏醉セシメテ其財物ヲ強取シタル者ハ強盜ヲ以テ論ス

本條ハ舊刑法第三百八十三條ヲ修正シタル準強盜罪ノ規定ナリ
本條ハ藥酒其他ノ方法ヲ用イ人ヲ昏醉ニ陥レ若クハ不可抗力ノ状態中昏醉者ノ財物ヲ自己ノ占有中ニ移轉セシメル行為ハ暴行脅迫ニヨリ不可抗力ニ陥ラシメタルト同 犯狀ト看做シ仍ホ強盜犯罪ヲ以テ之ヲ論スルナリ

第二百四十條 強盜人ヲ傷シタルトキハ無期又ハ七年以上ノ懲役ニ處ス死ニ致シタルトキハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第二百三十八條 準強盜罪

第二百三十九條 同

第二百四十條

強盜死傷罪

本條ハ舊刑法第三百八十條ヲ修正シタル強盜殺傷罪ナリ

本條ハ強盜ノ手段若クハ已ニ成立シ其強盜罪ニ原因シテ人ヲ殺傷モシメタル行為ナレバ強盜豫備行為以後未タ實行以前未途中又ハ已ニ實行着手中若クハ已ニ終リタル以後トノ取違シ逮捕又ハ證據湮滅ノ爲メ被害者共犯者又ハ第三者ヲ傷害シタルトキハ無期又ハ七年以上ノ懲役ニ處ス死ニ致シタルトキハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第二百四十一條 強盜婦女ヲ強姦シタルトキハ無期又ハ七年以上ノ懲役ニ處ス因テ

婦女ヲ死ニ致シタルトキハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

本條ハ舊刑法第三百八十一條ヲ修正シタル強盜強姦罪ノ規定ナリ

本條ハ強盜豫備行為中ヨリ實行後ニ至ル間ニ於テ強盜ノ行為ニ基固シ婦女ヲ強姦シタルトキハ傷害ヲ加エタルト否トニ拘ハラヌ無期又ハ七年以上ノ懲役ニ處ス死ニ致シタルトキハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第二百四十二條 自己ノ財物ト雖モ他人占有ニ屬シ又ハ公務所ノ命ニ因リ他人ノ着手シタルモノナルトキハ本章ノ罪ニ付テハ他ノ財物ト看做ス

本條ハ舊刑法第三百七十一條ヲ修正シタルモノニシテ自己ノ財物ト雖モ他人ノ占有中ハ尙ホ他人ノ財物ト看做シ強盜ノ目的物タルコトヲ得ヘキ規定ナリ舊刑法ニ於テハ強盜ノ場合ノミニ本條ト同一趣旨ノ規定ヲ爲シタルモ強盜ニツキテハ闕如シタル爲メ適用ノ不便ヲ感シタルヲ以テ本章ハ強盜ニ共通スヘキ規定トシ其不便ヲ補修シタリ強盜ハ他人ノ占有ヲ侵害スル犯罪ナレバ自己ノ財物ト雖モ他人ノ占有ニ屬シタルトキ之ヲ強盜ノ行為ニヨリ自己ノ占有ニ移轉スルトキハ當然強盜罪成立シ本條ノ規定ヲ要セス下雖モ自己ノ財物ナレバ他人ノ占有ニ屬スルトキ強盜ノ行為アリタルトキハ疑ヲ生スル虞アルヲ以テ立法者ハ之ヲ豫防セシ爲メ特ニ本條ヲ規定シタルモノナリ

本條ニ於テ自己ノ財物ト雖モ他人ノ占有ニ屬シタル以後ハ之ヲ強盜ノ行為ヨリ自己ノ占有ニ移轉セシメタルトキハ占有ノ原因ハ質權留置權賃貸權委託ニ基クテ問ハサルナリ舊刑法ニ於テハ典物トシテ他人ノ占有ニ屬シタルトキ強盜ノ目的トナシタリ本條ハ占有ノ原因ヲ制定セス廣ク占有シト規定シタルヲ以テ占有ノ原因ヲ解釋スルニ制限スルヲ得スト雖モ他人ニ於テ不法ニ自己ノ財産ヲ占有シタルトキ暴行脅迫ヲ加エ取返スモ強盜罪ニアラサルナリ故ニ他人ノ占有ハ適法ノ占有タルヲ要スルモノトス適法ノ占有タル以

上ハ其原因ハ問フヲ要セサルナリ
公務所ノ命令ニヨリ自己ノ財物ヲ他人ニ於テ占有シタルトキ例ニハ執達吏ノ差押ニ行政
處分ノ徵發者若クハ刑民事件ノ證據物件差押ニ等ヲ云ヒ他人ノ占有中ハ自己ノ財物ト雖
モ奪取スルトキハ強盜罪成立スルモノナリ

第二百四十二條 第二百三十五條 第二百三十六條 第二百三十八條 乃至 第二百四十一

條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

本條ハ強盜罪中豫備犯以外ノ犯罪ハ未遂犯モ之ヲ罰ス

第二百四十四條 直系血族配偶者及同居ノ親族又ハ家族ノ間ニ於テ第二百三十五

條ノ罪及ヒ其未遂罪ヲ犯シタル者ハ其刑ヲ免除シ其他ノ親族又ハ家族ニ係ルトキ

ハ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

親族又ハ家族ニ非サル共犯ニ付テハ前項ノ例ヲ用ヒス

本條ハ舊刑法第三百七十七條ヲ修正シタル親族間ノ竊盜行為ナリ舊刑法ハ「祖父母父母妻
妻子孫及ヒ其配偶者又ハ同居ノ兄弟姉妹互ニ其財物ヲ竊取シタル者ハ竊盜ヲ以テ論スル

ノ限ニ在ラス」ト爲シタルモ狹隘ニ失スル嫌アルヲ以テ本條ハ直系血族配偶者ハ同居スル
ト否ト別タス無罪トシ傍系 族姻族又ハ之レ以外 家族ハ竊盜 爲ニツキ同居シタル
トキハ既遂未遂ヲ別タス其刑ヲ免除シ同居セサル傍系血族姻族又ハ家族ノ竊盜行為ハ被
害者ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス親族家族間ノ竊盜ヲ處罰スルトキハ一家ノ平和ヲ害スル虞
レアルヲ以テ之レヲ處罰セサルヲ原則トシ蓋シ他家ニアル親族家族ノ間ニ於テハ或ハ他
人ニ等シキ者アリ親族家族ノ情誼ヲ斟酌スルノ必要ナキコトアリ故ニ告訴アルトキハ之
ヲ論ス親族家族相盜ハ竊盜行為ノ不能ニ屬スルニアラス身分ニヨル免除ナレハ他人ニ於
テ親族家族ト共ニ犯シタルトキハ身分ナキ他人ノ行為ハ竊盜トシテ之ヲ論スルコト、爲
セリ

第二百四十五條 本章ノ罪ニ付テハ電氣ハ之ヲ財物ト看做ス

本章ノ目的物ハ總テ有形ノ物トシ有スル物ノミヲ以テ犯罪ノ目的物トシ無形ノ物ハ本章
ノ犯罪目的物タルヲ得サルナリ然ルニ現今電氣ノ應用繁榮スルニ當リ之ヲ竊取スルトキ
ハ物ニアラサルヲ以テ無罪トシ電流ヲ保護セサレハ事業ノ繁榮ハ終ニ衰微スルニ至ル尤
モ電流ハ一定ノ器具ニ蓄留セハ自由ニ之ヲ移轉シ得ヘシト雖モ未タ有形物トナスヲ得ス

第二百四十四條

親族間相竊盜

第二百四十五條

電氣ヲ財物トス

四九

故ニ本條ニ於テ本章中ノ強盜盜罪ニツキテハ電氣モ物ト看做シタリ瓦斯ニツキテハ特別ノ規定ナキヲ以テ強盜盜ノ目的物ニ非ス瓦斯ヲ奪取スルモ本章ヲ以テ論スルヲ得サル也

第三十七章 詐欺及ヒ恐喝ノ罪

本章ハ舊刑法第三編第二章第五節詐欺取財ノ罪ヲ修正シタル規定ナリ

第二百四十六條 人ヲ欺罔シテ財物ヲ騙取シタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ方法ヲ以テ財産上不法ノ利益ヲ得又ハ他人ヲシテ之ヲ得セシメタルモノ亦同シ

本條ハ舊刑法第三百九十條ヲ修正シタル詐欺取財ノ罪ナリ

詐欺取財ノ罪トハ虛偽ノ事實ヲ以テ人ヲ欺罔シテ錯誤ニ陥ラシメ其錯誤ヲ利用シテ財物ヲ交付セシメ之ヲ收受スル行爲ナリ此意義ヲ分析セハ左ノ如シ

一 虚欺ノ事實タルヲ要ス

眞實ノ事實ヲ告知シタルヲ誤信シ若クハ自己ノ意見ヲ陳述シタルトモ不實ノ事ト雖モ虚欺ノ事實ト云フヲ得ス虚欺ノ事實トハ架空ナルコトヲ知テ故ラニ精實ノ如ク假裝シ相手方ヲシテ誤信セシムル目的ヲ以テ告知スルヲ要ス相手方ハ之ヲ誤信シ欺罔ニ陥リタル

トキ又他ノ者カ共謀シテ其誤信ヲ利用シタルトキハ詐欺取財共犯トス例エハ其書百八號金時計ヲ廉價ニ販賣スレハ速ニ之ヲ購求スヘシト告知之ヲ信シ純金時計ニ購求タル所純金ニアラス銀側ニ電鍍シタルモノナリシ場合ハ告知者ト某商店ト共ニシキハ共犯トス共謀ノ事實ナキトキハ告知者ハ無罪某商店ノミ詐欺取財トナシ

二 人ヲ欺罔シテ錯誤ニ陥ラシメタルヲ要ス

不實ノ事ヲ告知シ誤信セシムルヲ要ス錯誤ニ陥ラサルトキハ着手未遂トシ 百五十一條ニ於テ處罰ス

三 錯誤ヲ利用シテ財物ヲ交付セシメ之ヲ收受スル行爲タルヲ要ス

不實ノ事ヲ告知シ欺罔シテ錯誤ニ陥ラシメ其機ニ乘シ財物ヲ交付セシメ之ヲ收受シタルトキハ詐欺取財ノ既遂罪トス未タ財物ヲ收受セサル以前ノ行爲ハ未遂ノ狀態トスルナリ以上ノ方法ヲ以テ財物ヲ收受スルニアラス得可カラサル財産上利益ヲ得又ハ他人ヲシテ得セシメタルトキハ仍ホ詐欺取財ノ罪トス詐欺取財ノ罪ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第二百四十七條 他人ノ爲メ其事務ヲ處理スル者自己若クハ第三者ノ利益ヲ圖リ又

第二百四十六條

詐欺取財ノ罪

第二百四十七條

四一〇

ハ本人ニ損害ヲ加フル目的ヲ以テ其任務ニ背キタル行爲ヲ爲シ本人ニ財産上ノ損害ヲ加エタルトキハ五年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ハ本法ノ創設ニシテ舊法ニ闕如シタル他人ノ事務處理ニ關スル犯罪ノ規定ナリ
他人ノ爲メ事務ヲ處理スル原因ニツキテハ法定又ハ委任若クハ承諾ニ基クモノニシテ事務處理ノ責任ハ報酬ヲ得ルト無報酬トニ因テ區別ナク報酬ヲ得テ他人ノ事務ヲ處理スル片ハ最上ノ注意ヲ要シ最微ノ過失モ負擔ス無報酬ノ事務處理ハ普通ノ注意ニヨリ普通ノ過失ノミ負擔ス事務處理ハ後見人後見監督人保佐人破産管理人代理人等ニシテ處理者ハ本人ノ意思ニ從ヒ誠實ニ利益ヲ計ルヘキ任務ニ違背シ已若クハ第三者ノ利益ヲ圖リ又ハ本人ニ損害ヲ加フル希望心ニヨリ背信ノ行爲ニヨリ任務上爲スヘキコトヲ爲サス若クハ爲ス可カラザルコトヲ爲シ其結果本人ノ財産ニ損害ヲ加エタルトキハ民法上損害賠償ノ請求ヲ爲スト雖モ從來ノ經驗ニ徴スルトキハ損害賠償ノ目的ヲ達スルコト稀ナリ然ルニ其行爲ヲ察スルニ殆ト詐欺ニ類似スルヲ以テ本條ハ五年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處シ準詐欺取財犯トナシタリ

第二百四十八條 未成年者ノ知慮淺薄又ハ人ノ心神耗弱ニ乘シテ其財物ヲ交付セシ

メ又ハ財産上不法ノ利益ヲ得若クハ他人ヲシテ之ヲ得セシメタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

本條ハ舊刑法第三百九十二條ヲ修正シタル未成年者心神耗弱者ヨリ財物ヲ交付セシメタル罪ナリ

本條ハ二十才未滿ノ未成年者又ハ老衰癡癩白痴者ハ是非善惡ヲ識別スル知識未タ發達セス若クハ減退シ法的行爲ノ能力ヲ有セサルヲ利用シ財物ヲ提供セシメ之ヲ收受シ又ハ証書其他ノ物ヲ破毀セシメ自己ノ債務ヲ免カレ不法ノ利益ヲ得若クハ他人ヲシテ不法ノ利益ヲ得セシメタル行爲ハ欺罔ニヨル詐欺ニハアラスト雖モ其結果殆ト類似スルヲ以テ詐欺取財ノ刑ト同一刑ヲ適用シ十年以下ノ懲役ニ處ス

第二百四十九條 人ヲ恐喝シテ財物ヲ交付セシメタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ方法ヲ以テ財産上不法ノ利益ヲ得又ハ他人ヲシテ之ヲ得セシメタル者亦同シ

本條ハ舊刑法第三百九十條ヲ修正シタル恐喝取財ノ罪ナリ

第二百四十八條

準詐欺取財ノ罪

第二百四十九條

恐喝取財ノ罪

本條ニ於テ恐喝ト云フハ脅迫ノ一種類ニ屬シ罪質上區別アルニアラス唯タ危害ノ程度輕微ナルト重大ナルトニヨツテ立法上便宜ノ區別トス然ラハ如何ナル程度ニ於テ恐喝脅迫ノ區域ヲ定ムヘキカ之レ事實問題ニシテ裁判所ノ判定ニ任スト雖モ凡ソ恐喝ハ單ニ鐵拳ヲ以テ毆打ス可シ若クハ財產ノ一部ヲ破壞スルト云フカ如キ其危害輕微ナリトシ重大ノ危害ニアラサルモノナリ被恐喝者ハ其結果恐怖心ヲ惹起シ其恐怖心ヲ利用シ財物ヲ提供セシメ収受シタルトキハ十年以下ノ懲役ニ處ス交付セシメタルニアラス得ヘキ利用ヲ得セシメス其結果自己ノ財產上ノ利益ヲ不法ニ得タルトキ例ニハ借用證書ヲ破棄セシメ自己ノ債務ヲ免カレントスルカ如シ若クハ他人ヲシテ利害ヲ得セシメタル者ハ仍ホ恐喝取財ト爲シ十年以下ノ懲役ニ處ス

第二百五十條 本章ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

本章ニ規定シタル犯罪ハ未遂ノ狀態中ト雖モ之ヲ罰ス

第二百五十一條 本章ノ罪ニハ**第二百四十二條****第二百四十四條**及**第二百四十五條**ノ規定ヲ準用ス

本章ノ犯罪ニツキ準用ス可キ規定ハ**第二百四十二條** 自己ノ財物ト雖モ他人ノ占有ニ屬

シ又ハ公務所ノ命ニ因リ他人ノ看守シタルモノナルトキハ本章ノ罪ニ付テハ他人ノ財物ト看做ス**第二百四十四條** 直系血族配偶者及ヒ同居ノ親族又ハ家族ノ間ニ於テ**第二百二十五條**ノ罪及ビ其未遂罪ヲ犯シタル者ハ其刑ヲ免除シ其他ノ親族又ハ家族ニ係ルトキハ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス親族又ハ家族ニ非サル共犯ニ付テハ前項ノ例ヲ用ヒス**第二百四十五條** 本章ノ罪ニ付テハ電氣ハ之ヲ財物ト看做ス

第三十八章 横領ノ罪

本章ハ舊刑法第三編第二章第五節ノ内受寄財物ニ關スル罪及ヒ第三節遺失物埋藏物ニ關スル罪ヲ合シテ横領ノ罪ト修正シタリ

第二百五十二條 自己ノ占有スル他人ノ物ヲ横領シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス自己ノ物ト雖モ公務所ヨリ保管ヲ命セラレタル場合ニ於テ之ヲ横領シタル者亦同シ

本條第一項ハ舊刑法第三百九十五條及ヒ第二項ハ同第三百九十六條ヲ修正シタル領收罪ナリ

本條ハ他人ノ爲メ占有スル意思ヲ以テ他人ノ物ヲ自己ノ占有中ニ自己ノ物トシテ占有スル意思ヲ生シタルトキ横領罪成立ス自己ノ占有ノ原因ハ代理又ハ寄托又受ケサルモ善意ヲ以テ他人ノ物ヲ占有シタル時舊刑法ハ受寄物ヲ消費スルニアラサレハ犯罪成立セサルモ本條ニ於テハ占有物ヲ消費スルト否トハ犯罪ニ關係セス單ニ自己ノ爲メ占有スル意思ヲ有スルノミニヨツテ成立ス自己ノ物ト雖モ公務所ヨリ保管ヲ命セラレ保管中其命令ニ違背シ自己ノ欠缺ナキ物トシテ占有スル意思ヲ生シタルトキ保管ノ原因ハ執達吏ノ差押エタル物若クハ證據物タルヲ間ハサルナリ舊刑法ニ於テハ官署ヨリ差押エタル物件ヲ盜匿脱漏シタルトキ犯罪成立シタルモ秋陸ニ失シ適用ノ不便ヲ感スル嫌ヒアリシヲ以テ本條ハ自己ノ爲メ占有中横領スル意思ヲ以テ犯罪成立ノ時期ト爲シタルニ適用ノ範圍廣クニ至リ實用ニ適合スルモノナリ本罪ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第四百五十二條 業務上自己ノ占有スル他人ノ物ヲ横領シタル者ハ一年以上十年以

下ノ懲役ニ處ス

本條ハ舊刑法ニ關シ本法ニ於テ創設シタルモノニシテ業務上自己ノ占有スル他人ノ物ヲ横領スル罪ナリ

本條ハ營業又ハ職業ニ因テ自己ノ占有スル他人ノ物ヲ不法ニ自己ノ物ト爲ス意思ヲ有シタルトキハ本條ノ犯罪成立ス例ニハ質店ニ於テ他人ノ物ヲ典物トシテ占有シ未タ流期ノ到來以前ニ於テ其典物ヲ他ニ賣渡シ所有者ニ返還スル能ハサルニ至ル状態ナリ又ハ他人ノ家屋ヲ新築シタル受負師ニ於テ自己ノ家屋トシテ落成届ヲ爲スカ如キハ營業又ハ職業ニ因テ占有シタル他人ノ物ヲ横領シタルモノナリ業務上横領シタルトキハ管理ノ責任ニ背キ信用ヲ害スルコト比較的大ナルヲ以テ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第二百五十四條 遺失物漂流物其他占有ヲ離レタル他人ノ物ヲ横領シタル者ハ一年

以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金若クハ科料ニ處ス

本條ハ舊刑法第三百八十五條及ヒ第三百八十六條ヲ修正シ占有ヲ離レタル他人ノ物ヲ横領スル罪ナリ

本條ニ於テ遺失物漂流物ハ例示ニ過キス占有ヲ離レタル他人ノ物ヲ横領シタル行為ノ犯罪ナリ占有ヲ離レタルトハ占有者ノ意思ニ反シテ自己ノ行為ニヨリ所持ヲ脱出シ再ヒ占有ヲ爲サ、ル物ナリ舊刑法ノ如ク遺失物漂流物埋藏物ト例擧スルトキハ其範圍狹隘ニ失

シ總テ自己ノ意思ニ背シテ占有ヲ脱出シタル場合ヲ網羅スルヲ得ス例ニハ遺留物若クハ混同物又ハ占有ヲ爲シ得サル物ノ如キハ之ヲ包含セサルナリ例ニハ車上又ハ浴場ニ置キ忘レタル遺留物他人ニ贈與物又ハ紙屑等ニ或物品ノ混入シタルヲ知ラスシテ贈與若クハ賣渡シタル混同物、深谷、泥中、水底ニ物ヲ落シ入レ容易ニ物ヲ占有シ得サルモノ、如キハ遺失物漂流物理藏物ニアラサルナリ遺失物トハ自己ノ所持ヲ脱出スル當時知ラサル物ヲ云イ漂流物トス海上河川ニ於テ漂着シタル物トシ埋藏物トハ土地又ハ家屋內ニ隠匿シタル物ナリ

要スルニ占有ヲ離レタル他人ノ物タルヲ知テ故テ自己ノ權利ニ屬セサルヲ自己ノ占有ニ歸セシムル行爲ハ一年以下ノ懲役百圓以下ノ罰金若クハ科料ニ處ス

第二百五十五條 本章ノ罪ニハ第二百四十四條ノ規定ヲ準用ス

本章ハ第二百四十四條ニ規定シタル親族相盜ハ之ヲ論セス他人ニ於テ共犯者タルトキハ他人ハ有罪トナス規定ヲ本章ニモ準用シ即チ横領ノ目的物カ直系血族配偶者及ヒ同居ノ親族又ハ家族ノ間ナルトキハ其罪ヲ論セス其他ノ親族又ハ家族ニ係ハルトキハ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス親族又ハ家族ニ非サル共犯ニ付テハ前項ノ例ヲ用ヒス

第三十九章 贓物ニ關スル罪

本章ハ舊刑法第三編第二章第六節贓物ニ關スル罪ヲ少シク修正シタル規定ナリ

第二百五十六條 贓物ヲ收受シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

贓物ノ運搬寄藏故買又ハ牙保ヲ爲シタル者ハ十年以下ノ懲役及ヒ千圓以下ノ罰

金ニ處ス

本條ハ舊刑法第三百九十九條及ヒ第四百一條ヲ合シテ修正シタル贓物收受運搬寄藏故買又ハ牙保罪ナリ

本條ニ於テ贓物トハ犯罪行爲ニヨツテ占有スル物ヲ云フ犯罪行爲ヲ組成シタル物若クハ犯罪行爲ヨリ生シタル物ノ如キハ贓物ニアラサルナリ物ト云エハ資産ヲ組成スル財産ヲ總稱スルニアラス財産中有形物ノミトス電氣瓦斯ハ物ニアラサルナリ已ニ犯罪行爲ニヨツテ占有スル物タル以上ハ犯罪者ニ於テ刑罰ヲ受ケタルト否トハ敢テ本條ノ犯罪成立ニハ關セサルナリ收受ト云エハ犯罪者又ハ第三者ヨリ贓物ヲ提供シ其情ヲ知テ故ラニ之ヲ領收スルモノナリ故ニ犯罪者又ハ第三者ノ占有中ナル贓物ヲ其意ニ反シテ奪取スルハ竊

第二百五十五條

親族間相盜ノ規定準用

第二百五十六條

贓物ニ關スル罪

四一九

盜強盜若クハ詐欺取財成立シ贖物收受罪ニハアラサルナリ贖物ノ運搬トハ贖物タル情ヲ知テ他ノ場所ヨリ他ノ場所ニ贖物ヲ移轉セシムル行為ナリ寄藏トハ贖物タル情ヲ知テ寄托ヲ受ケ故テニ之ヲ藏匿スル行為ナリ故買トハ有償信義ニヨリ贖物タル情ヲ知テ故ラニ取得スル行為ナリ牙保トハ贖物タル情ヲ知テ贖物ノ處分ヲ幫助スル行為ナリ例ニハ典物賣買ヲ爲スヲ幫助スルカ如シ以上ノ犯罪成立セハ十年以下ノ懲役ト共ニ千圓以下ノ罰金ニ處ス之レ一罪ニ對シテ二重ノ刑罰ヲ科スルニアラス贖物幫助者ノ如キハ金刑自由刑共ニ科セサレハ目的ヲ達スルヲ得サルヲ以テ併料スルハ贖物幫助罪ニ對スル刑罰ニシテ二重ノ刑罰ニアラサルナリ

第二百五十七條 直系血族配偶者同居ノ親族又ハ家族及ヒ此等ノ者ノ配偶者ノ間ニ

於テ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ其刑ヲ免除ス

親族又ハ家族ニ非サル共犯ニ付テハ前項ノ例ヲ用ヒス

本條ハ本法ノ創設シタル規定ニシテ贖物ニ關スル幫助罪ニツキテハ家族ノ情誼ヲ重シク窃盜詐欺取財犯人隠匿シタル場合ト同一立法趣旨ニ基キ直系血族配偶者同居ノ親族又ハ

族及ヒ此等ノ配偶者間ニ於テ前條ノ贖物ニ關スル犯罪ノ性質行為アリト雖モ其刑ヲ免除ス但シ之レ等ノ者ト共犯シタル他人ハ其刑ノ免除ヲ受クルヲ得ス

第四十章 毀棄及ヒ隱匿ノ罪

本章ハ舊刑法第三編第二章第十節家屋物品ヲ毀壞シ及ヒ動植物ヲ害スル罪ヲ修正シタルモノナリ

第二百五十八條 公務所ノ用ニ供スル文書ヲ毀棄シタル者ハ三月以上七年以下ノ懲役ニ處ス

本條ハ舊刑法第二百二條第二項第二百三條第二項及ヒ第二百五條第二項ヲ合シテ修正シタル公用文書毀棄罪ナリ

本條ニ於テ公務所ノ用ニ供スル文書ハ第十七章文章偽造罪ニ於テ詳論シダレハ爰ニ省略ス蓋刑法ニ於テハ官文書ノミナリシヲ本法ハ官文書ノミナラス公務所全般ニ關スル文書ニシテ公務ニ關係シ公務所ニ管掌スル文書ハ其正成ハ一私人タリトモ己ニ公務所ノ管掌ニ屬シタル文書ハ本條ノ犯罪目的物トス公務所ニ於テ作成シタル文書ト雖モ公務所ノ管

第二百五十七條

親族間贖物幫助罪

第二百五十八條

公用文書毀棄罪

四二一

掌ヲ脱シ證人ノ管掌ニ屬シタルトキハ毀棄スルモ本條ノ犯罪ニアラザルナリ要スルニ本條ニ於ケル文書ハ公成文書タルト私製文書タルトノ區別ナク文書ヲ管掌スル者カ公務所ナルトキハ本條ノ犯罪目的物トス文書ヲ毀棄スルハ敢テ物質的破棄ヲ云フニアラス文書ノ目的タル効力ノ全部若クハ一部ヲ消滅セシムル行爲ナリ故ニ文書ノ効力ニ關係ヲ有セサル紙片又ハ文書ノ一部ヲ毀棄スルモ本條ノ犯罪成立セス文書ノ効力ニ關係スル時ハ文字ノ一部ヲ抹消シタル行爲ト雖モ文書毀棄罪成立ス本條ハ文書ノ毀棄ニヨツテ事實ヲ消滅セシムル者ニアラザレハ其害惡ノ程度ハ重大ニアラザルモノトシ舊刑法ヨリ刑量ヲ減少シ本條犯罪ハ三月以上七年以下ノ懲役ニ處ス

第二百五十九條 權利義務ニ關スル他人ノ文書ヲ毀棄シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

本條ハ舊刑法第四百二十四條ヲ修正シタル私文書毀棄罪ナリ
 本條ニ於テ他人ノ權利義務ニ關スル文書ハ權利ノ發生變更消滅ニ關スルモノニシテ之ヲ裏面ヨリ觀察スルトキハ義務ノ發生變更消滅ニ關スル文書ナリ此文書ニヨツテ權利義務

ヲ證明スル資料タリ故ニ之ヲ毀棄シ證明ヲ困難ナラシメタルヲ利用シテ自己又ハ他人ノ義務ヲ免カレシメント計リ若クハ他人ヲシテ權利ヲ失ハシメントナスニアリ然シナカラ權利義務ハ文書ノ毀棄ニ因テ消滅變更發生スルニアラス其事實ハ依然ト存在ス他人ノ文書ト云エハ自己ノ文書ハ毀棄スルモ本條ノ犯罪ニハアラザルナリ自己ノ文書ト云フハ自己ノ作成シタル文書ト云フニアラス自己ノ管有スル文書ナリ其作成ハ公務員若クハ他人又ハ自己タルヲ論セス自己ノ管有スル文書換言セハ自己ノ權利ヲ證明スル資料タル文書ハ之ヲ毀棄シ其文書ノ効力全部若クハ一部ヲ消滅セシムルハ任意ノ行爲ニシテ犯罪成立セス然シナカラ自己ノ債權ノ差押エヲ受ケタルトキハ其債權ヲ證明スヘキ文書ハ自己ノ權利ノミニ屬セサルヲ以テ之ヲ毀棄シ證明ノ資料ヲ失フトキハ第二百六十二條ノ犯罪成立スヘキナリ

上ニヨツテ本條ノ犯罪成立セハ五年以下ノ懲役ニ處ス

二百六十條 他人ノ建造物又ハ艦船ヲ損壞シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

第二百六十條 建造物又ハ艦船毀棄罪 第二百六十一條 前三條外ノ物ノ毀棄罪 四二三

本條ハ舊刑法第四百十七條ヲ修正シタル他人ノ建造物又ハ艦船ヲ損壞シタル罪ナリ
 本條ニ於テ建造物ト云フハ既ニ論述シタル如ク人工ヲ以テ築積シタル家屋其他ノ建造物
 ヲ總稱シ艦船ハ海上ニ航行スル軍艦汽船和船ヲ總稱シ風船輕氣球ハ包含セサルナリ損壞
 シトハ物質的ニ其用方ヲ不能ナラシムル行爲ナリ
 他人ノ建造物又ハ艦船ヲ故ラニ損壞シタルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス其損壞行爲ニ基
 因シ人ヲ死傷ニ致シタル時ハ傷害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

第二百六十一條 前三條ニ記載シタル以外ノ物ヲ損壞又ハ傷害シタル者ハ三年以下

ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金若クハ科料ニ處ス

本條ハ舊刑法第四百十八條乃至第四百二十二條ノ五條ヲ合シテ之レニ修正ヲ加エ前二條
 ニ記載シタル以外ノ物ヲ損壞又ハ傷害シタル罪ノ規定ナリ舊刑法ハ損壞シタル財物ノ種
 類ニヨツテ刑ノ區別ヲ設クト雖モ之レ犯狀ニ過キサレハ本條ハ概括的規定トシ犯狀ハ裁
 判所ノ判定ニ任シタリ前三條ニ記載シタル以外ノ物トハ他人ノ牛馬狗器具植物等ヲ不
 法ニ物質的破壞シ若クハ牛馬等ノ生命ヲ奪ヒ又ハ身軀ニ侵害ヲ加エタル者ハ三年以下ノ

懲役五百圓以下ノ罰金若クハ科料ニ處ス

第二百六十二條 自己ノ物ト雖モ差押ヲ受ケ物權ヲ負擔シ又ハ賃借シタルモノヲ損

壞又ハ傷害シタルトキハ前三條ノ例ニ依ル

本條ハ本法ノ創設ニシテ自己ノ物ニ對スル毀棄罪ナリ

本條ハ窃盜詐欺取財ト同一趣旨ニ基キタルモノニシテ自己ノ所有物ト雖モ債權ニヨツテ
 差押エヲ受ケ若クハ留置權抵當權等物權ヲ負擔シ又ハ他人ニ賃貸シタル物ハ自己ノ物ト
 雖モ他人ノ權利ノ目的物トナリタルヲ以テ不法ニ之ヲ損壞又ハ傷害ヲ加エタルトキハ前
 三條ニ記載財物ノ種類ニヨツテ其刑ヲ適用ス

第二百六十三條 他人ノ信書ヲ隱匿シタル者ハ六月以下ノ懲役若クハ禁錮又ハ五十

圓以下ノ罰金若クハ科料ニ處ス

本條ハ本法ノ創設ニシテ信書隱匿罪ナリ本條ニ於テ他人ノ信書ト云フハ第三百三十三條秘
 密ヲ侵ス罪ニツキ評論シタル如ク他人ノ披見ヲ禁止スル秘密ノ文書ナリ之ヲ隱匿藏匿シ
 發見ヲ妨害シタル者ハ六月以下ノ懲役若クハ禁錮又ハ五十圓以下ノ罰金若クハ科料ニ處

第二百六十二條 自己ノ物ト雖モ差押ヲ受ケ物權ヲ負擔シ又ハ賃借シタルモノヲ損壞又ハ傷害シタルトキハ前三條ノ例ニ依ル

第二百六十四條 第二百五十九條第二百六十一條及以前條ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

本章中第二百五十九條權利義務ニ關スル他人ノ文書ヲ毀棄シタル罪第二百六十一條前三條ニ記載シタル以外ノ物ヲ損壞又ハ傷害シタル罪第二百六十三條他人ノ信書ヲ隱匿シタル罪ハ親告罪トシ被害者ノ告訴アルニアラサレハ檢事ハ起訴ノ手續ヲ以テ公訴ヲ提起スルヲ得ス從テ裁判ヲ爲スヲ得サルモノナリ

正改 刑法新解終

明治四十一年九月廿九日印刷
明治四十一年九月一日發行

著者 青田巳之助

編輯兼發行者 全 神田區鍛冶町十一番地 小西乙吉

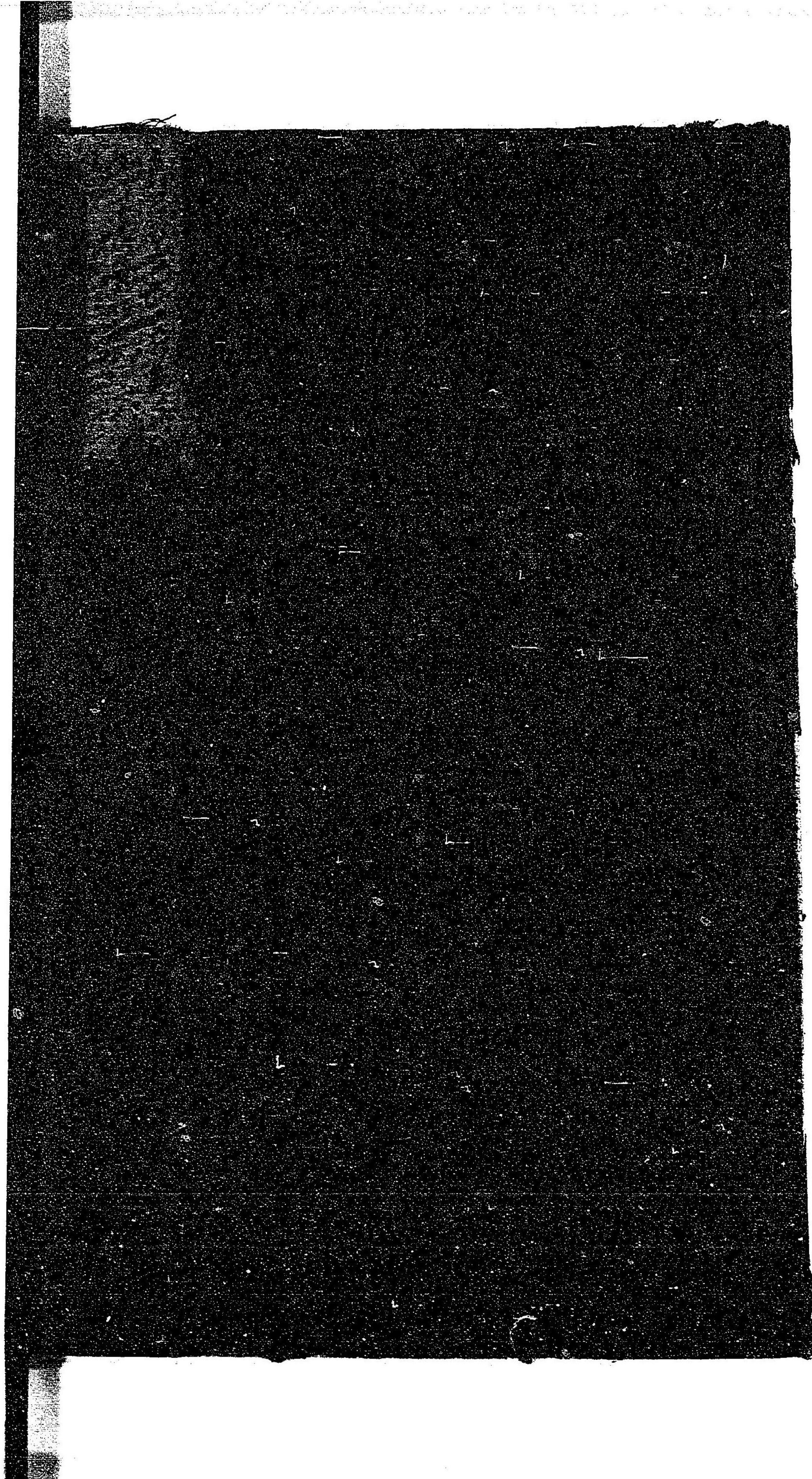
印刷所 全 區堅大工町九番地 東榮堂活版所

發行所 神田鍛冶町三八光商會本店

不許 複製

91

174



91
174

035512-000-7

91-174

改正刑法新解

青田 巳之助 / 著

M4 1

BBP-005.3



